

一人の新しい人の構成要素——

文化に置き換わる、すべてを含む、無限に拡張するキリスト

聖書：コロサイ 1:15-18, 27. 2:9-10, 16-18. 3:4, 10-11

**I. わたしたちがコロサイ人への手紙の深みに入り込むなら、パウロがこの書において対処しているのは、人類文化という隠れた事柄であることを見ます：**

- A. パウロがコロサイ第3章11節で「未開人」という言葉を使っていることは、この手紙が文化を対処していることの有力なしるしです。
- B. 文化とは、わたしたちが発展させて、わたしたちを生存させ維持してきた系統的な方法です——創 4:16-22：
  - 1. 文化は、あらゆる人が無意識に生きている生活です——エペソ 2:2-3. 4:17。
  - 2. 全世界の人は、文化の影響を受けています。
- C. 文化がコロサイの信者に強烈な影響を及ぼしたように、文化は今日わたしたちに強烈な影響を及ぼしています——コロサイ 2:8-10, 16-18：
  - 1. わたしたちは無意識のうちに、その中で生まれ育った文化の影響を受けています。この文化の要素はわたしたちの存在の一部分です——ガラテヤ 4:3, 9. コロサイ 2:8, 20。
  - 2. わたしたちは召会生活の中へと入って来たとき、わたしたちの文化を持ち込みました。この文化は、わたしたちのキリストと召会生活に対する享受を破壊します。
  - 3. キリストは召会生活における唯一の要素であるべきですが、かなり大きな程度で文化によって置き換えられています——8節. 3:11：
    - a. 潜在意識的にも無意識的にも、わたしたちはみな自分の文化を尊んでおり、自分の特定の文化的背景を高く評価しています。
    - b. 召会生活の中で、キリストは、他の何よりも文化によって置き換えられています——11節。

**II. コロサイ人への手紙が啓示しているのは、神のエコノミーの中で、すべてを含む、無限に拡張するキリストがすべてであるということです——コロサイ 1:15-18, 27：**

- A. わたしたちは、このすばらしいキリストがわたしたちのすべてであるという明確なビジョンを必要とします。
- B. このようなビジョンは、キリストを経験することに対する、また召会生活に対する文化の影響を終わらせます。そして、わたしたちは文化的な人になるのではなく、キリストで占有され、所有され、浸透された人となります——3:11 後半。

**III. 首位の、すべてを含む、無限に拡張するキリストは、わたしたちの命であり、一人の新しい人の唯一の構成要素です——コロサイ 3:4, 10-11：**

- A. 新しい人としての召会の構成要素はキリストであり、ただキリストだけです。召会の内容は、すべてを含む、無限に拡張するキリストにほかなりません——コ

ロサイ 1:15-18. 2:9-10。

- B. すべてを含む、無限に拡張するキリストは、わたしたちの命として、また一人の新しい人の構成要素として、彼ご自身をもってわたしたちの文化に置き換わります——3:11。
- C. キリストをわたしたちの分け前として享受した結果、わたしたちは彼を一人の新しい人の内容また構成要素として経験します。最終的に、わたしたちが享受するキリストが新しい人の構成要素となります——1:12. 3:11。
- D. コロサイ第3章11節によれば、新しい人には、さまざまな文化的な区別が存在し続けることは不可能です：
  - 1. 一人の新しい人には、文化的な区別はありません。なぜなら、新しい人のあらゆる部分はキリストで構成されているからです——コロサイ 3:11。
  - 2. この新しい人としての召会には、地域や文化や国籍の区別に地位はありません。どんな種族や国籍や文化や社会的身分にも地位がありません。
- E. キリストは新しい人の唯一の構成要素であるので、この新しい人の一部分である信者たちの間には、何の違ひもあるべきではなく、召会と召会の間にも何の違ひもあるべきではありません——I コリント 4:17. 啓 1:12, 20. 22:16。

**IV. 新しい人の構成要素として、キリストはすべてであり、すべての中におられます。キリストはすべての肢体であり、すべての肢体の中におられます——コロサイ 3:11 :**

- A. この新しい人としての召会では、キリストがあらゆる人であり、彼はまたあらゆる人の中におられます——1:27. 3:11。
- B. 一方で、新しい人の中では、天然の人に地位はありません。なぜなら、キリストがすべての肢体であるからです。
- C. もう一方で、キリストがすべての中におられるという事実が示しているのは、各肢体は依然として存在していても、キリストなしに存在するのではなく、キリストに内住されている人として存在するということです——1:27。
- D. わたしたちはキリストをわたしたちの命また構成要素とするとき、わたしたちがキリストと一であり、キリストがわたしたちであるという深い感覚を持ちます。また同時に、わたしたちはキリストがわたしたちの中におられるというさらに深い感覚を持ちます——3:4。
- E. この新しい人としての召会において、キリストはすべてです。これが暗示しているのは、すべての信者がキリストで構成されていなければならないということです——1:15-18. 2:16-17. 3:4, 10-11 :
  - 1. わたしたちはキリストで飽和され、キリストで浸透され、キリストが有機的にわたしたちの存在の中へと造り込まれるようにしなければなりません——ガラテヤ 4:19. エペソ 3:17 前半。
  - 2. 最終的に、わたしたちはキリストによって置き換えられます。その時、実際において、キリストはすべてとなり、すべての中におられるようになります。彼は新しい人のあらゆる部分となります——コロサイ 3:11 後半。
- F. 新しい人とは、すべての聖徒たちの中のキリストがわたしたちに飽和し、わた

したちに置き換わり、ついには、すべての天然の区別がなくなり、あらゆる人がキリストで構成されることです——ガラテヤ 4:19. エペソ 3:17 前半. コロサイ 1:27。

G. わたしたちがすべてを含む、無限に拡張するキリストのビジョンと、キリストに対する十分な経験を持つとき、一人の新しい人は実際的にわたしたちの間に出現し、わたしたちは新しい人の生活を実際化します——3:10-17. ピレモン 10-16 節。

H. もしキリストがすべての聖徒の生活であるなら、その時、新しい人にはキリストだけがいるようになり、すべての聖徒は、その国籍が何であれ、キリストを生きるでしょう。その時、実際と実行において、キリストは新しい人のすべての肢体となります——コロサイ 3:11. ペリピ 1:21 前半。

**V. 新エルサレムは、この一人の新しい人の最終的な完成です——エペソ 2:15-16.**

**4:24. コロサイ 3:10-11. 啓 21:2, 9-10 :**

A. わたしたちは新エルサレムとなったとき、この宇宙的な一人の新しい人の生活を享受します。

B. 今日わたしたちは、すべてを含む、無限に拡張するキリストにわたしたちの文化に置き換わっていただき、彼ご自身をもってわたしたちを構成していただき、実際と実行においてわたしたちをみな一人の新しい人の各部分としていただくことによって、この享受の前味わいを持つことができます——コロサイ 1:27. 2:10. 3:4, 10-11。